

南相馬市の 食べ物と水の安心を 考えるシンポジウム

《参加無料・予約不要》

日時：平成30年2月3日(土)午後2時00分

場所：原町生涯学習センター（原町区小川町322-1）

第1部 基調講演



テーマ「食品と水に関する放射能について」

講師

まんぶく
万福

ゆうぞう
裕造

国立研究開発法人

農業・食品産業技術総合研究機構

※万福先生は第2部パネルディスカッションに引き続き
パネリストとして参加します。

第2部 パネルディスカッション

テーマ「食品と水の安心について」



コーディネーター

おち さえ

越智 小枝

(東京慈恵医科大学)



パネリスト

すずき かおり

鈴木 香織

(Seeds+代表)



パネリスト

たけだ ゆきひこ

武田 幸彦

(武田ファーム)



パネリスト

たばやし しんや

田林 信哉

(副市長)

会場でアンケートに答えると

野菜をプレゼント!

南相馬市の現状について

東日本大震災、福島第一原子力発電所の事故から約6年10ヵ月が経過するところです。昨年4月の小高区内小中学校の再開や小高産業技術高等学校の開校により、若い方が小高区に戻り、街の活気も少しずつ取り戻しつつあります。

また、自家消費野菜等については、野生の山菜やきのこなどはいまだに高い放射能濃度を示す場合がありますが、野菜などの放射能濃度は低い傾向にあります。また、水道水も放射性物質の検査を行っていますが、平成23年5月以降、放射性物質は検出されていません。こうしたなか、市民の皆さんのなかには、市内産の食品の買い控えをされたり、水道水の代わりに飲み水を購入されたりする方もいらっしゃるのが現状です。

シンポジウムについて

「第1部 基調講演」では、震災から約6年10ヵ月が経過するなかで、南相馬市の食べ物や水に関する放射能の現状がどのようになっているのかを解説します。

「第2部 パネルディスカッション」では、基調講演を踏まえて、パネリストの皆さんと現在抱えている疑問や課題を共有し、専門家と意見を交換していきます。参加者の皆さんには、疑問の解消や課題を解決するヒントを見つけてもらえれば幸いです。

万福 裕造(まんぷく ゆうぞう)

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構本部 企画調整部 震災復興研究統括監付 上級研究員。南相馬市環境回復推進委員会委員。依頼派遣飯館村復興対策課。

平成24年4月から3年の間、福島県飯館村の復興対策課に派遣。また、平成28年4月から同村の復興対策課に再派遣により、地域の営農再開、環境回復の研究に従事。平成28年度から南相馬市環境回復推進委員を務めて地域の復旧・復興、環境回復に尽力。

鈴木 香織(すずき かおり)

Seeds+マーチングバンド代表。南相馬市立原町第三小学校 PTA 幹事。福島県立原町高等学校 PTA 健全育成委員長。南相馬市原町区交通安全母の会会員。

Seeds+マーチングバンドの活動のため、県外へ遠征し演奏を行いながら、本市の状況や食の安心・安全の取り組みなどをPR。

越智 小枝(おち さえ)

東京慈恵医科大学臨床検査医学講座講師・医学博士。相馬中央病院医師。

平成11年、東京医科歯科大学医学部卒業後、東京医科歯科大学に入局。平成23年よりインペリアルカレッジ・ロンドン公衆衛生大学院に進学。東日本大震災を機に、相馬市の仮設健診などで活動をしながら、平成25年11月から相馬中央病院勤務。

平成27年、第4回西予市お伊ネ賞で最高賞の全国奨励賞（日本医師会推薦）を受賞。

武田 幸彦(たけだ ゆきひこ)

平成27年に就農し、鹿島区で水稲・野菜を中心に農業を経営。

平成27年度から「南相馬農業復興チャレンジ塾」に入塾し、販路開拓等のマーケティング研修を学び、首都圏での農産物の実践販売を通じて、南相馬の復興や風評被害の払拭に尽力。